



Color & Comfort by Chemistry

# 株主のみなさまへ

第118期 報告書 (中間) 平成27年1月1日～平成27年6月30日



DIC 株式会社

# Color & Comfort by Chemistry

## 化学で彩りと快適を提案する

### Contents

株主のみなさまへ	3
連結業績	4
最近の投資活動	7
DICグループのサステナビリティ活動	8
DICグループ ウェブサイトのご紹介	9
会社概要・株主メモ	10
DIC川村記念美術館のご案内	11

# 株主のみなさまへ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。新たに株主となられた皆様には、心よりお礼申し上げますとともに、末永くご支援の程お願い申し上げます。

さて、当社では、“STEP BEYOND”一次代を見据え、果敢に踏み出す一をスローガンにスタートした中期経営計画「DIC105」が最終年度を迎え、重点戦略として掲げた、「欧米インキ事業再構築」「成長牽引事業の拡大」「次世代事業の創出」をはじめ、各施策の完遂に向けて、グループの総力を挙げて取り組みを進めています。

平成27年6月30日をもちまして、当社第118期における第2四半期までの営業が終了しましたので、ここにその概況をご報告申し上げます。

## 連結業績のご報告

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、北米・欧州においては、一部に弱さが見られるものの、景気回復が継続しました。アジアにおいては、中国や東南アジアにおける景気の拡大テンポが一段と鈍化しつつある一方、インドでは、景気が持ち直しています。国内においては、生産に弱さが見られるものの、緩やかな回復基調が継続しました。

このような事業環境の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,096億円と前年同期比0.3%の増収となりました。

営業利益は、事業環境の好転や合理化効果などにより、226億円と前年同期比13.9%の増益となりました。

経常利益は、218億円と前年同期比18.8%の増益となりました。

四半期純利益は、153億円と前年同期比48.1%の増益となりました。

## 通期の連結業績見通しと配当金

事業環境については、国内においては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、緩やかに回復していくことが



見込まれます。海外においても、アジアなどで一部景気減速が見られるものの、北米、欧州などを中心に緩やかな回復が続くものと予想されます。このような状況の下、当社グループは中期経営計画「DIC105」に基づき、欧米インキ事業の再構築や成長牽引事業の拡大に取り組み、通期の業績は売上高8,400億円、営業利益500億円、経常利益460億円、当期純利益340億円と、前期比で増収・増益を見込んでいます。

また、当期の配当につきましては、1株当たり4円の間配当を実施し、期末配当としても1株あたり4円を予定しております。当社は、安定した経営基盤の確立を目指すとともに、株主の皆様への利益還元をより充実させていくことを基本方針と考えています。また内部留保資金については、その充実に努めるとともに、企業体質を一層強化することで株主の皆様の将来的な利益拡大に寄与すべく、より有効に使用して参ります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役  
社長執行役員

中西義之

## 事業セグメント別業績の概況

### プリンティングインキ



日本では、グラビアインキは一時的な在庫調整の影響などを、オフセットインキ、新聞インキは需要減少の影響などを受け、全品目において減収となりました。米州・欧州では、欧州のパッケージ用インキは堅調に推移しましたが、両地域で出版インキと新聞インキが需要減少の影響を受けたことなどにより、減収となりました。アジアにおいて、中国は景気減速による需要減少を受け、全品目で減収となりました。東南アジアでは、グラビアインキと新聞インキが好調に推移し、増収となりました。オセアニアやインドではグラビアインキが好調に推移しましたが、オフセットインキの落ち込みなどにより、前年同期並となりました。以上の結果、全体としては前年同期並みとなりました。

営業利益は、合理化効果などにより、増益となりました。

### ファインケミカル



国内は、カラーフィルタ用顔料やインキ用顔料が堅調に推移し、塗料・プラスチック用顔料の落ち込みをカバーしました。TFT液晶は、新製品の出荷を開始しましたが、製品切り替えの端境期となったため、減収となりました。欧米では、主に光輝材および化粧品用顔料が大きく伸びたことにより、増収となりました。以上の結果、全体としては増収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、前年同期並に留まりました。

### ポリマ



国内では、エポキシ樹脂は電気・電子向けが底堅く推移し、増収となりました。塗料用樹脂は、土木・建築向け需要が落ち込んだことから、またポリスチレンは、買い控えの影響などにより、各々減収となりました。海外では、中国における不飽和ポリエステル的好調な出荷に加え、新規連結の効果などにより、増収となりました。以上の結果、全体としては、前年同期並となりました。

営業利益は、上記の売上状況やコスト改善などにより、大幅な増益となりました。

### アプリケーションマテリアルズ



インクジェットインキはシェアが拡大したことから、増収となりました。PPSコンパウンドは、国内の売上が若干落ち込みましたが、海外で出荷が順調に拡大し、前年同期並となりました。工業用粘着テープは、スマートフォン向けの海外需要の一時的な停滞により、若干の減収となりました。化粧板は住宅需要の回復が見られず減収となりました。以上の結果、全体としては、減収となりました。

営業利益は、上記の売上状況などにより、前年同期並となりました。

## 連結グループネットワーク

### ○ プリンティングインキ 106社

DICグラフィックス株式会社  
Sun Chemical Group Coöperatief U.A.  
南通迪愛生色料有限公司  
PT. DIC GRAPHICS  
DIC India Ltd.  
DIC (Malaysia) Sdn. Bhd.  
DIC Australia Pty Ltd.  
他99社

### ◇ ファインケミカル 7社

連雲港迪愛生色料有限公司  
他6社

### ◇ ポリマ 28社

星光PMC株式会社  
ディーエイチ・マテリアル株式会社  
DIC化工株式会社  
DIC北日本ポリマ株式会社  
DIC九州ポリマ株式会社  
Siam Chemical Industry Co., Ltd.  
常州華日新材有限公司  
迪愛生合成樹脂(中山)有限公司  
立大化工股份有限公司  
張家港迪愛生化工有限公司  
他18社

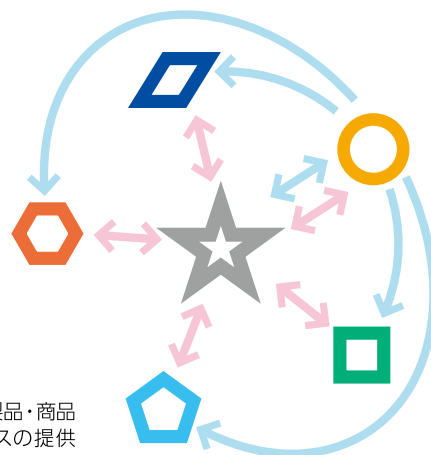
### □ アプリケーションマテリアルズ 21社

DIC EP株式会社  
DICプラスチック株式会社  
DICデコール株式会社  
DIC Compounds (Malaysia) Sdn. Bhd.  
Earthrise Nutritionals, LLC.  
PT. DIC Astra Chemicals  
他15社

### ○ その他 14社

DIC Asia Pacific Pte Ltd  
迪愛生投資有限公司  
青島迪愛生精細化学有限公司  
他11社

### ★ DIC株式会社



← 原料・製品・商品  
← サービスの提供

## セグメント情報

### ■ 売上高

(単位:億円)

	2014年度 2Q実績 (累計)	2015年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
プリンティングインキ	2,020	2,021	+0.0%
ファインケミカル	690	735	+6.4%
ポリマ	942	949	+0.7%
アプリケーションマテリアルズ	613	596	△ 2.8%
その他、全社・消去	△ 181	△ 205	—
連結合計	4,084	4,096	+0.3%

### ■ 営業利益

(単位:億円)

	2014年度 2Q実績 (累計)	2015年度 2Q実績 (累計)	前年同期比 (%)
プリンティングインキ	73	75	+3.9%
ファインケミカル	70	71	+1.8%
ポリマ	41	65	+60.9%
アプリケーションマテリアルズ	37	37	△ 1.0%
その他、全社・消去	△ 23	△ 22	—
連結合計	198	226	+13.9%

# 連結業績

## 連結財務諸表等

### 連結貸借対照表（要約）

平成27年6月30日現在

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金・預金	259	支払手形・買掛金	1,063
受取手形・売掛金	2,260	短期借入金等	976
たな卸資産	1,584	その他の流動負債	761
その他の流動資産	231	<b>流動負債 合計</b>	<b>2,800</b>
<b>流動資産 合計</b>	<b>4,334</b>	長期借入金・社債	1,902
有形固定資産	2,401	その他の固定負債	592
無形固定資産	124	<b>固定負債 合計</b>	<b>2,494</b>
投資その他の資産	1,317	<b>負債 合計</b>	<b>5,294</b>
<b>固定資産 合計</b>	<b>3,842</b>	<b>株主資本：</b>	
		資本金	966
		資本剰余金	942
		利益剰余金	1,188
		自己株式	△ 9
		<b>その他の包括利益累計額：</b>	
		為替換算調整勘定	△ 156
		その他	△ 321
		<b>少数株主持分</b>	<b>272</b>
		<b>純資産 合計</b>	<b>2,881</b>
<b>資産 合計</b>	<b>8,176</b>	<b>負債及び純資産合計</b>	<b>8,176</b>

### 連結損益計算書（要約）

平成27年1月1日～平成27年6月30日まで

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>売上高</b>	<b>4,096</b>		
売上原価	3,203		
販売費及び一般管理費	668		
<b>営業利益</b>	<b>226</b>		
金融収支	△ 23		
持分法による投資利益	13		
為替差損益	1		
その他	2		
<b>経常利益</b>	<b>218</b>		
特別利益	45		
特別損失	△ 42		
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>221</b>		
法人税等	△ 58		
少数株主利益	△ 11		
<b>当期純利益</b>	<b>153</b>		

### 連結キャッシュフロー計算書（要約）

平成27年1月1日～平成27年6月30日まで

		(単位：億円)	
科 目	金 額	科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	27		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 82		
フリーキャッシュ・フロー	△ 55		
財務活動によるキャッシュ・フロー	101		
現金及び現金同等物に係る換算差額	25		
現金及び現金同等物の増減額	71		
現金及び現金同等物の期首残高	164		
現金及び現金同等物の期末残高	235		

# 成長に向けた投資進む

### 1 タイにポリマ技術センター設立

タイに「ポリマ技術センター アジアパシフィック」を設立しました。成長著しいアジアパシフィック地域（日本・中国を除く）の顧客要望に合わせて製品を改良、提供することを目的としています。同地域におけるポリマ事業は、製造拠点をタイ・インドネシア・マレーシアに置き、技術フォローは日本から行ってきましたが、同技術センターの設立により、現地でのタイムリーな対応が可能になります。同センターを最大限活用し、顧客に密着した対応を行うことで、ポリマ製品の海外での拡販を加速します。



ポリマ技術センター アジアパシフィック  
(タイのポリマ製造拠点内に設置)

### 2 PPS樹脂の生産能力増強を推進

鹿島工場（茨城県）内に、約44億円を投じ、耐熱性、耐薬品性に優れるエンジニアリングプラスチックであるPPS（ポリフェニレンサルファイド）樹脂の生産能力増強を進めていきます。新設備は年産4,000トンで、これにより当社グループのPPS樹脂生産能力は世界トップクラスの年産23,000トンとなります。2016年末の完工予定で、樹脂からコンパウンドまでを一貫生産できる当社グループの利点を生かし、世界シェアNo.1としての地位を揺るぎないものとする所存です。



PPS樹脂の生産能力増強を進める鹿島工場  
(茨城県)

### 3 中国での塗料用水性エポキシ樹脂生産設備を新設

中国・張家港において、水性塗料の原料となる水性エポキシ樹脂の生産設備を、2016年下期の稼働開始を目指し新設します。中国塗料市場は年率8%程度の成長が見込まれていますが、中国政府の環境問題への取り組みもあり、塗料業界では溶剤系から水系など環境対応製品への需要シフトが急激に進んでいます。ポリマ製品の海外での拡販を目指す当社グループでは、この旺盛な需要を確実に取り込むため、他の環境対応製品についても供給体制の強化を進めていきます。



水性エポキシ樹脂を生産する張家港迪愛生化工有限公司  
(中国)

## 社会との共生・社会貢献活動

DICグループでは、サステナビリティ活動の一環として、色彩の文化と快適な暮らしの向上に貢献するために、以下3つの領域において社会貢献活動を行っています。

### 事業活動

#### 事業活動を通じた持続可能な社会の発展と 地域環境の保護に貢献する製品やサービスの提供

##### 取り組み事例

当社グループのDICプラスチック(株)は、環境に配慮した事業活動として、特にマテリアルリサイクル活動※に取り組んでいます。再資源事業者から再生原料を購入し、主力製品である様々なヘルメット・各種プラスチック製品へ再製品化し、販売しています。

※ 製品の形を変え、他の製品にすること。

QRコードからの  
アクセスはこちら



イザノキャップの詳しい情報は ▶ <http://www.dic-plas.co.jp/products/helmet/izano/>



再生原料を使用した  
折りたたみ式防災用キャップ  
「IZANO CAP」  
(イザノキャップ)

### 文化・教育

#### 色彩の文化および化学の分野における、 文化・芸術、学術・教育の振興・発展に寄与する活動

##### 取り組み事例

「理科は楽しい」「理科の勉強は身近な社会生活に役に立っている」ことを子どもたちに実感させることを目的として、「顔料合成実験」「平版印刷実験」などの理科実験授業を公立小学校に提供しています。この取り組みは、「教育CSR大賞2014」※にノミネートされ、「審査員特別賞」を受賞、同時に「中高生が選ぶ教育CSR活動」においても28社中3位という高い評価を得ました。

※ 全国学校教員の投票、および中高生の投票により、「先生が選ぶ子どもに受けさせたい企業プログラム」「中高生が選ぶ教育CSR大賞」を選ぶ。2014年度は28社が応募、当社を含めた8社が大賞にノミネートされた。



小学校での理科実験授業の様子

### 地域・社会

#### 地域社会との共生による相互の信頼関係の構築、また社員が 地域社会への自発的貢献活動を積極的に行える環境の整備

##### 取り組み事例

当社グループのSiam Chemical Industry Co., Ltd (タイ) では、マングローブ植林のほか、地域住民のサポートや奉仕活動、献血などの活動を社員一丸となって継続して展開しています。この活動は、タイ工業省より評価され、2014年度まで3年連続で「CSR-DIW賞」※を受賞しました。

※ タイ工業省が2008年から始めた企業の社会的責任推進プロジェクトで、ISO26000の観点から、CSR活動(当社グループにおけるサステナビリティ活動)が高く評価された企業に授与している。



CSR-DIW賞授賞式の様子

サステナビリティ活動の詳しい情報は ▶ <http://www.dic-global.com/ja/csr/>

QRコードからの  
アクセスはこちら





# DICグループ ウェブサイトのご紹介

当社グループは、DICグローバルウェブサイトを中心にインターネット上での情報の発信を行っています。様々なコンテンツのうち、いくつかをご紹介します。今後もウェブサイトの充実をはかり、インターネットを通じた情報発信による社会とのつながりを構築していきます。

DICグループ  
ウェブサイト

<http://www.dic-global.com/ja/>

または **DIC株式会社** で **検索**

QRコードからの  
アクセスはこちら



中期経営計画や決算  
に関する資料の掲載  
と音声の配信

## ■ 当社グループ グローバルウェブサイト トップ画面



IR情報は  
ココを  
クリック!

各地域向けのサイト  
(製品詳細情報を掲載)  
にリンク

新製品、設備投資の  
ニュースリリースや  
展示会出展などの  
トピックスを掲載

DICの基本情報「DICの事業展開」、「こんな  
ところに! DIC」、「DICのグローバルネット  
ワーク」、「DICの沿革・歴史」を掲載

## ■ 当社グループ ウェブサイト IR情報画面 <http://www.dic-global.com/ja/ir/>



決算短信などの  
資料の最新版に  
加え、バックナン  
バーも掲載

外部調査機関に  
よる当社グループ  
に関するレポート  
を掲載

# 会社概要・株主メモ

## ■ 会社概要

—平成27年6月30現在—

商号	DIC株式会社 DIC Corporation
本店	〒174-8520 東京都板橋区坂下三丁目35番58号 電話 03 (3966) 2111
本社	〒103-8233 東京都中央区日本橋三丁目7番20号 ディーアイシービル 電話 03 (6733) 3000
創業	明治41年2月15日(1908年)
設立	昭和12年3月15日(1937年)
従業員数	連結20,411名 <単体3,600名>
株式の状況	発行する株式の総数 1,500,000,000株 発行済株式の総数 965,372,048株 株主数 42,190名 1単元の株式の数 1,000株

## ■ 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	3月
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当受領株主確定日	6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) TEL 03-6701-5000 (通話料有料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。) URL <a href="http://www.dic-global.com/">http://www.dic-global.com/</a>
株主優待制度	毎年12月31日現在の株主名簿記載の1,000株以上ご所有の株主に対し、一律に当社DIC川村記念美術館の「株主ご優待招待券」2枚を贈呈

## 【ご注意】

- 住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記の特別口座の口座管理機関にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

# DIC川村記念美術館のご案内



DIC川村記念美術館は、当社が関連会社とともに収集してきた美術品を公開するため、千葉県佐倉市の総合研究所に隣接する敷地内に1990年に設立した美術館です。

17世紀のレンブラントから、印象派、エコール・ド・パリ、日本の屏風絵、そして20世紀後半のアメリカ美術まで多彩なコレクションを展示するとともに、収蔵品にちなんだ企画展や話題の展覧会を年に数回開催しています。

## これから見られる展覧会

### 絵の住処 (すみか) — 作品が暮らす11の部屋

2015年5月26日(火) - 2016年1月11日(月・祝)

DIC川村記念美術館の展示室には、雰囲気異なる11の部屋があります。所蔵作品おのおのにあわせ、大きさや意匠を変え設計したためです。オーダーメイドの展示空間は作品の魅力を十分に引き出し、見る人と作品を緩やかに結び合わせる最適な場となっています。本展では各展示室を巡りながら、改めて作品と空間のしなやかな関係に注目します。



レンブラント・ファン・レインの部屋  
Photo by Shigeo Ogawa

### サイ・トゥオンブリー 写真 (仮称)

2016年春 開催予定

20世紀を代表する芸術家、サイ・トゥオンブリー(1928-2011)の展覧会を開催します。トゥオンブリーは、「蜜蜂の身軽な飛翔」と評される、軽やかで優美な線による絵画で知られていますが、彫刻、素描、写真の作品も多く残しています。本展では、日本初公開となる写真約100点を紹介し、また絵画、彫刻、素描約10点をあわせて展示することで、異なったジャンルを往還したトゥオンブリーの眼差しと、膨大で複雑なその創作の秘密に迫ります。



サイ・トゥオンブリー  
《無題》1968年  
DIC川村記念美術館所蔵

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日(ただし祝日は開館し、翌平日に振替)、年末年始、展示替え/メンテナンスの臨時休館

入館料：「絵の住処」展 一般1000円、学生・65歳以上800円、小中高600円

庭園のみをご利用の場合(大学生以上)200円

所在地：千葉県佐倉市坂戸631

交通：・お車で→東関東自動車道「佐倉IC」から約5Km、無料駐車場300台完備

・電車+送迎バスで→JR総武本線「佐倉」駅または京成本線「京成佐倉」駅より無料送迎バス(JR佐倉駅→約20分/京成佐倉駅→約30分)

・高速バスで→東京駅八重洲北口の3番バス乗り場から1日1往復運行、片道約60分

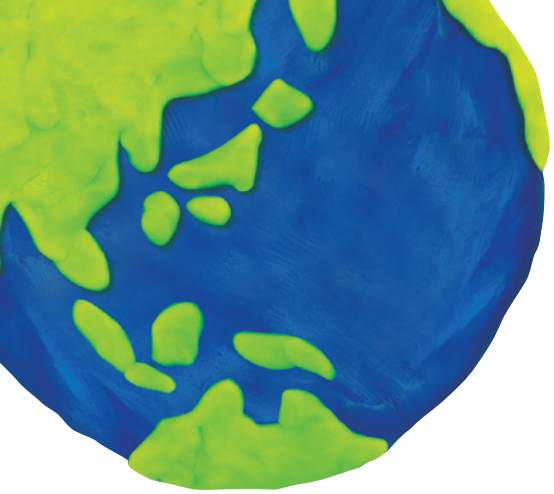
展覧会の詳細など、最新情報はホームページでお知らせしております。

お問い合わせ：URL <http://kawamura-museum.dic.co.jp>

代表電話 0120-498-130 (通話料無料・自動音声案内)

QRコードからの  
アクセスはこちらから

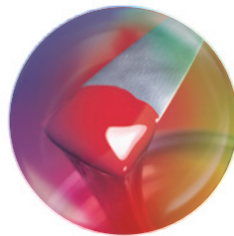




## Color & Comfort by Chemistry

当社の経営ビジョン「Color & Comfort by Chemistry」は、社会に対し、化学で彩りと快適を提案することを示しています。絶えざるイノベーションにより、顧客・社会・地球環境の持続可能な発展に貢献する、新たな価値の創造に全力を傾けてまいります。

<http://www.dic-global.com/>



本冊子のデザインはユニバーサルデザインフォントを使用し、印刷には VOC (揮発性有機化合物) 成分ゼロの環境にやさしい DIC グラフィックス株式会社の100%植物油型インキ「**ナチュラルス100**」を使用しています。